

海の夏休み

ですが、手技をする。繪を描く、觀察をさせる。お話を聞かせる。そういうふ類のことだけは、家庭でも出来ます。綠側で出来ます。庭で出来ます。箱庭、切紙燈籠、なんと面白い仕事でせう。金魚、朝顔、なんと適當な觀察でせう。線香一本、なぞ／＼遊びも、しりとり遊びも出来ます。

先生は袴をはくものときまつてゐません。湯上りの小さつぱりした浴衣がけで、園扇片手に、唱歌もうたへるし、お話をされませう。みんな立派な保育項目で子どもの方でも、あゝ／＼「また新規まきなをされ」と、先生以上にためいきをつかずするられないでせう。罪な夏休み。否々、罪な親達ですね。

縁側保育、庭保育

幼稚園では別段教授してゐる譯でありますから、夏休み中寝習して忘れないやうにといふことはありません。しかし、幼稚園でいつもしてゐる遊びやお仕事は家庭でも出来ることが多いのです。友達といつしょにといふことは、幼稚園獨特の點で、家庭で出来ない幼稚園の値うち

一體、と開き直ると暑くろしくなりますが、夏休みは、お子さんが全くお母さんの手に歸る時です。お子さんもそれが樂しみ、お母さんもそれが樂しみな日です。その折角の夏休みが、暑さまぎれに口小言ばかり言つてゐるで、出来るだけの時間をお子さんに上げて、いつしよに遊んで下さい。夏休みは母が我子と遊べるかき入れ時です。そう考へた丈けでも涼しいじやありませんか。

○海岸の生活は、貝にしても、小魚にしても、海草にしても、濱の雜草にしても幼い生物學者の研究題目になるものが澤山あります。山ではそうした採集などの方が主になつて、鍛錬を特別に注意する必要のある逆に、海では、鍛錬の間に、そうした自然研究も、大にさせたいものです。